

## 第3学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金)1校時  
対象 3組(男17名 女15名 計32名)  
指導者 伊藤 万里

1 主題名 わたしたちにできることは〔思いやり・親切2-(2)〕

2 資料名 耳をおいてでかけられますか？ 出典：学研「みんなのどうとく」3年

3 主題設定の理由

(1)価値について

本主題は第3学年および第4学年の指導内容2-(2)「相手のことを思いやり、親切にする。」をねらいとしている。

人間関係を築く基本は、お互いを尊重し、相手の心情を共感的に理解することである。しかし、経験不足から、相手の置かれている状況を把握できなかつたり、相手の気持ちになって考えることができなかつたりすることもある。

中学年は、徐々に相手の心情や立場を理解できるようになる時期である。この時期をとらえて、「相手のことを考え、思いやりの心をもって接する」という心情を育てる必要がある。思いやりの心をもって接するとは、相手のおかれている立場を理解し、相手の気持ちを推し量って、援助や声かけをすることである。本主題では、身近な社会の中で、障害のある人や老人、幼児などに対して思いやりの心をもって接していこうという心情を育てたい。

(2)児童について

学級の児童は、男女ともに仲がよく、互いに声を掛け合う姿がよく見られる。「3年3組のよいところ」として、「仲がよいこと」「助け合えること」をあげる児童も多い。

また、第3学年の学年テーマは「3ピース！人にやさしく」である。このテーマのもと、児童は「ほかの人にやさしくしよう」という気持ちをもって生活している。特に、帰りの会などでは「さんにやさしく声をかけてもらってうれしかったです。」「さんは思いやりがあるなあと思いました。」といった声が聞かれるなど、一人一人がテーマを意識して生活していることがうかがわれる。一方で、困っている友達がいても、仲のよい友達でないと見て見ぬふりをしたり、どうすればよいか分からないと行動に移せなかつたりすることもある。特に、障害をもつ友達に対しては、どのようにカバーしたらよいか迷う場面も見られる。

そこで、本主題では、聴覚障害者への理解を通し、自分たちにできることをやってみようとする気持ちを養いたい。相手が何を必要としているのか、どうしてほしいのかを3年生なりに考え、取り組んでいこうとするきっかけになるようにしたい。

(3)資料について

本資料は、学校で出会った聴覚障害者や聴導犬について、姉が主人公である妹に教えるという会話形式で構成されている。主人公は姉との対話の中で、障害者への理解を深めていく。姉の問いに対する主人公の返事は枠囲みで示されているが、姉の思いに共感し、会話が成立しているものと考えられる。

外見からの判断が難しいため、聴覚障害者は誤解されたり理解してもらえなかつたりすることが多くあるという。そうした立場の人が、実際にどんなことで困っているのか、何をしてほしいのかを考え、枠囲みに自分の姿を重ね合わせながら言葉を入れることで、障害者への思いやりの気持ちを育てることができる資料である。

(4)指導にあたって

総合的な学習の時間に、アイマスク体験や車椅子体験、お年より体験などの活動を行った。これらの活動で、これまでの生活では感じることのなかった不便さや不自由さを体験することができた。また、一人で行動することには恐怖を伴い、介助を必要とすることも多くあるのだということを学ぶことができた。本資料で扱う聴覚障害についてもわずかな時間ではあるが疑似体験しており、手助けが必要だということは理解できると考える。一方、「聴導犬」については、詳しく知らない児童

がほとんどである。

そこで、本時の気づく段階では資料の写真に着目させ、聴導犬や聴覚障害に関心をもたせたい。そして、登場人物について把握し、話し合いの方向性を見出したい。

見つめる・つかむ段階では、資料と体験を絡ませながら、耳が聞こえないことによる不安や恐怖、不便さなどについて考えさせたい。そして、「わたし」の返事に自分の気持ちを反映させることにより、相手が何を必要としているのか、どうしてほしいのかを考え、それに応えていこうとする気持ちを引き出していきたい。

広げる段階では、実際に手話ボランティアをされている方の講話を聞きながら、自分ができることに取り組みようとする気持ちの大切さを考えさせたい。

まとめる段階では助けを必要としている人に対して自分が取り組んでみたいことを考えさせ、実践意欲につなげたい。

この学習を通し、障害者への理解を深めるとともに、日常的にも相手が何を必要としているのか、どうしてほしいのかを考え、それを実践しようとする気持ちを育みたい。

#### 4 本時指導の位置付け

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 地域講師について<br><br>【竹田智子さん】 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 協力を依頼するねらい<br/>本時の学習から児童は手話に関心をもち、実際に学んでみたいという気持ちをもつと考えられる。そこで、広げる段階で実際に手話を教えていただき、これからの活動への意欲につなげたい。また、講師ご自身のこれまでの経験の中から、ボランティアを始めたきっかけややって良かったと感じたこと、思いやりをもって行動することの大切さをお話しいただき、自分ができることをしていこうとする気持ちを育みたい。</li><li>・ 特徴<br/>実際に手話ボランティアをなさっている方である。クラブ活動などにも積極的にお手伝いしてくださっていることから、児童に分かりやすく講話をしていただけの方である。</li><li>・ 探し方<br/>本校児童の保護者でもあり、ボランティアクラブの活動にもお手伝いいただいている。昨年度は、クラブ活動以外にも、4年生の総合的な学習の時間での「手話を学ぶ活動」や手話を取り入れた合唱練習の際に来校しており、聴覚障害や手話に関する授業にふさわしい方と判断した。</li></ul> |
|--------------------------|--|



|  |
|--|
| 登場場面<br>「広げる」段階<br>時間配分<br>10分<br>内容<br>手話を教えていただく。また、手話ボランティアを始めたきっかけや、やっていて良かったと感じたことなどについて経験を基に話していただく。<br>どのように<br>あいさつの手話を教えていただく。その後講話をしていただく。 |
|--|

|  |
|--|
| 主題名<br>わたしたちにできることは<br>価値<br>思いやり・親切<br>資料名<br>「耳をおいてでかけられますか？」<br>ねらい<br>相手に対し、思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を育てる。 |
|--|

|   |
|---|
| 感謝祭<br>ご招待し、歌やゲームなどを通し、ふれあいを深める。また、一緒に活動する中で竹田さんの人柄に触れる。<br><br>総合的な学習の時間<br>(4年生)<br>「手話を学ぶ活動」で聴覚障害や手話をより詳しく教えていただく。 |
|---|

5 本時の指導

(1)ねらい

相手に対し、思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を育てる。

(2)展開の概要

| 段階                 | 学習活動と主な発問  | 予想される発言や心の動き   | 指導・援助の留意点   |
|--------------------|--|--|---|
| 気づく<br>8分          | <p>1 写真を見て、気付いたことを話し合う。<br/>この写真から気付いたことを発表しましょう。</p> <p>2 登場人物について把握し、話し合いの方向性をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「わたし」がどんな返事をしたのかを考えよう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬が写っている。</li> <li>・犬の服に聴導犬と書いてある。</li> <li>・女の人が犬を抱いている。</li> <li>・サングラスをかけた男の人が写っている。</li> <li>・いつの写真なのかな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料のカラー写真(パラリンピック観戦)を拡大して提示し、聴覚障害や聴導犬に関心をもたせる。</li> <li>・「わたし」になったつもりで、考えていくことを確認する。</li> </ul>  |
| 見つめる<br>つかむ<br>20分 | <p>3 「耳をおいてでかけられますか？」を読み、枠囲みに入る言葉について話し合う。<br/>聴導犬のことを知っていますか。</p> <p>えりさんはなぜ「外に出かけるとき耳をおいて出かけられますか?」と聞いたのでしょうか。</p> <p>「いやな顔をされることがある」ということについてどう思いますか。</p> <p>聴導犬や盲導犬、介助犬を連れてくる人に会ったら、どんなことをしてあげたいですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らなかった。</li> <li>・もっと詳しく教えて。</li> <li>・耳が不自由な人に代わって、音を聞く犬だよ。</li> <li>・耳が聞こえない人の気持ちを考えてほしかったのかな。</li> <li>・外に出るといことがとても怖いことだから、わかってもらいたかったんじゃない。</li> <li>・車のクラクションも聞こえないから危ないということを知ってほしかったのかな。</li> <li>・聴導犬がそばにいないと困るということを考えてほしかったのかな。</li> <li>・聴導犬なんだからわかってあげればいいのにね。</li> <li>・えりさんがかわいそうだね。</li> <li>・出かけたくなるよね。</li> <li>・まだまだ聴導犬のことを知らない人が多いから、仕方ないのかな。</li> <li>・わたしも、嫌だな。</li> <li>・困っているようだったら、話を聞いてあげたいな。</li> <li>・役に立っている犬なんだと周りの人に教えてあげたらどうかな。</li> <li>・手伝えることはないか聞いて、手伝ってあげたらどうかな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聴導犬」や「手話」について説明を加える。</li> </ul> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>総合的な学習の時間における疑似体験を想起することにより、一人で行動することには恐怖を伴い、介助を必要とすることも多くあったことをとらえさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者は外見ではなかなか区別がつかないこと、食べ物を扱うところに動物を連れて入ることは難しいことを補足説明した上で、考えさせる。</li> <li>・助けを必要としている姿を見かけたときに、何とかしてあげたいと考え、相手の気持ちに答えようとする</li> </ul> |

|            |  |  |  |
|------------|--|--|--|
|            | 「わたし」は手話を習うことについて何と返事をしたでしょう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を覚えていると、耳が不自由な人とも分かり合えるから習ってみたいな。</li> <li>・そうだね。一緒に習いたいな。</li> </ul>  | ことが「思いやり」なのだということを押さえる。  |
| 広げる<br>10分 | 4 地域講師の講話を聞き、感想をもつ。<br>手話をやってみましょう。<br><br>話を聞いて、感想を發表しましょう。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを考えるのは難しいけど、やりがいがあることなのだと思います。</li> <li>・自分もやってみたいです。</li> <li>・もっと手話を習ってみたいと思いました。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を教えていただき関心を深めた後に講話をしていただく。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>手話ボランティアを始めたきっかけや、やっていて良かったと感じたことについて経験を基にお話しいただく。</p> </div> |
| まとめる<br>7分 | 5 助けを必要としている人に対して、どんなことができるか考える。<br>助けを必要としている人に対し、自分だったらどんなことをしたいですか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことで困っているか聞いて、手伝ってあげる。</li> <li>・一緒に遊ぶ。</li> <li>・聴導犬や、盲導犬、介助犬などの役に立っている動物を宣伝する。</li> <li>・手話を覚えてお話しする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心のノートP38に記入させる。</li> </ul>   |

## 6 板書計画

耳をおいてでかけられますか？

カラー写真

えりさん 手話

耳が不自由

クラクション

名前を呼ばれる

ドアチャイム 電話

美音 聴導犬

音を教える仕事

耳のかわりをする犬

こわい

「耳をおいて出かけられますか？」って聞かれたの。どうしてだと思っ。

- ・ 気持ちを考えてほしかったから。
- ・ とても怖いことだと、わかってもらいたかったから。
- ・ 聴導犬がそばにいないと困ることを知ってほしかったから。

聴導犬を連れてるといやな顔をされることがあるんだって。どう思っ。

- ・ わかってあげればいいのにね。
- ・ 知らない人が多いから、仕方ないのかな。
- ・ えりさんがかわいそう。

聴導犬や盲導犬、介助犬を連れてる人に会ったら、どんなことをしてあげようか。

- ・ 話を聞く。
- ・ 役に立っている犬だと教える。
- ・ お手伝いする。
- ・ 手話で分かり合っ。

何とかしてあげたい 思いやり

7 資料分析

資料名 耳をおいてでかけられますか？

出典：学研（「みんなのどうとく」3年）

ねらい 相手に対し、思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を育てる。

| 場面            | えりさんと「美音」を知る場面  | 耳が聞こえないことの怖さを考える場面  | 嫌な顔をされたときのことを考える場面   | 自分ができることを考える場面   |
|---------------|---|---|--|--|
| 外的状況と主人公の心の動き | <p>学校で「美音」という聴導犬を連れてえりさんに会った事を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妹にも教えたい。</li> <li>・はじめて知ることばかりだ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">驚き</p> | <p>「外にでかけるとき、耳をおいてでかけられますか？」となぜ聞かれたか、一緒に考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音が聞こえないと、怖いことがたくさんある。</li> <li>・自分だったらどうか考えてほしいのかな。</li> <li>・なぜこんなこと聞いたのかな。</li> </ul> <p style="text-align: center;">怖い<br/>不安</p> | <p>「こういうところに犬をつれてくるなんて。」と、いやな顔をされる時もあることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴導犬のことがまだまだ知られていないから、困ることもあるんだ。</li> <li>・聴導犬のことを知らない人が多いよね。</li> <li>・どうしていやな顔をするのかな。</li> </ul> <p style="text-align: center;">困惑</p> | <p>「こういう犬をつれている人に会ったら、どんなことをしてあげようか？」となげかけられる。</p> <p style="text-align: center;">思いやり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴導犬のことを宣伝したい。</li> <li>・盲導犬や介助犬を連れてきている人にも協力したい。</li> <li>・手話を一緒に覚えよう。</li> <li>・困っている人の役に立ちたいな。</li> </ul> <p style="text-align: center;">親切</p> |
| 児童の意識         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴導犬って何だろう。</li> <li>・どうして、えりさんは聴導犬を連れてきているのかな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・えりさんは自分だったらということを考えてほしいのかな。</li> <li>・耳が聞こえないってすごく怖いことだな。</li> <li>・自分だったら耳をおいて出かけられるかな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴導犬なんだからわかってあげればいいのに。</li> <li>・こんなに不便なことがいっぱいあるのに、どうしていやな顔をするのかな。</li> <li>・えりさんがかわいそうだな。</li> <li>・犬がいたら不潔だし、ほえたら怖いな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを手伝ったらいいか聞いてみたいな。</li> <li>・役に立っている犬なんだと説明してあげたいな。</li> <li>・一緒に出かけて、手伝いたいな。</li> <li>・手話を覚えて話したいな。</li> <li>・どうしてあげたらいいかな。</li> <li>・何ができるかな。</li> </ul>   |
| 発問            | <p>聴導犬のことを知っていますか。</p>  | <p>えりさんはなぜ「外に出かけるとき耳をおいて出かけられますか？」と聞いたのでしょうか。</p>   | <p>「いやな顔をされることがある」ということについてどう思いますか。</p>  | <p>聴導犬や盲導犬、介助犬を連れてきている人に会ったら、どんなことをしてあげたいですか。手話を習うことについて何と返事をしたでしょう。</p>   |